１．研究開発概要

・評価者が理解しやすいように記述してください。そのため、必要に応じて図や表も用いてください。

・様式1については、A4用紙10ページ以内(厳守)にまとめてください。

・研究開発概要に記載していただく項目は下記（１）から（６）までです。公募要領の「目的」に合致することが明確になるよう、各項目について下記に書かれている指標を必ず記載してください。なお、独自に項目や指標を増やしていただくことは構いません。

ご提出いただく際には、記入要領を記載した　　及びその中の記載は削除してください。

**（１）研究開発期間終了以降から事業化までのシナリオ**

・本提案によって創出される技術がどのようなもので、その技術が将来どのように社会導入され、ひいては将来の深海資源調査産業にどのように貢献するか、事業を行う業界や企業を想定しながらシナリオを描き、記載してください。時間軸については、本提案では取り組まない他の技術との相対関係がわかるように記載してください。

**（２）研究開発期間以内に取り組む課題**

本提案の研究開発期間内に、上記（１）のシナリオを実現するにあたって取り組むべき課題を以下の観点から記載してください。

・社会導入（実用化・事業化）までに克服する課題はどのようなものか。

・そのうち、本提案ではどの課題をどこまで解決することに取り組むのか。

・既存技術ではどの程度当該課題が解決できており、本提案ではどこが鍵になるのか。

・トレードオフ関係にある観測項目・ハードウェア・ソフトウェア等は何か。

・本提案で取り組まない他の克服すべき課題は、いつ・誰が行うべきと考えるか。

・研究開発期間終了時までに実証が完了するように適切な課題設定がなされているか。

（３）研究開発期間終了時の研究開発目標

上記（２）の課題の解決に向けて、研究開発期間内に達成すべき研究開発目標を以下の

観点から記載してください。

・研究開発期間内に実施する実証研究に移行するために達成すべき、出口を見据えた具体的な技術目標値は何か。

・研究開発期間終了時（実証研究まで完了）には、社会導入に至るまでに達成すべき技術目標値に対して、具体的にどのような技術目標値まで達成するのか。

・技術目標値以外に達成すべき項目が何かあるのか。

**（４）研究開発計画**

上記（３）の達成にあたり、具体的な研究開発内容、アプローチの方法、既存技術との関係、マイルストーン等を含めた研究開発計画を記載してください。

・技術目標（コスト、調査効率、精度等）を挙げ、研究開発期間終了時に研究開発目標を達成する道筋を示してください。

・複数の技術目標に対し、優先度を示してください。大きなブレークスルーが必要な場合は、それが何かを示してください。

・今回提案する調査システム・運用手法の内容、特徴、利点・欠点等について具体的に記述して下さい。

・使用するプラットフォーム、センサー、解析技術を記載してください。また、これらについて改造・改良を行う場合はその内容についても記載して下さい。

・実海域での調査航海・潜航について、対象海域、対象海域の選択理由、調査航海・潜航の実施の時期・方法等について具体的に記述してください。

・上記各項目については、従来技術との差別化、固有の方法の優位性等、その機材及び方法を選択した理由を記載して下さい。

・研究開発期間全体のタイムスケジュールを示してください。

・この研究開発構想において想定される知的財産権（出願やライセンス、管理を含む）について、現在の関連知的財産権取得状況、研究を進める上での考え方を記述して下さい。

**（５）実用化・事業化への戦略性、達成度合い**

・事業終了後も含め、技術開発成果の実用化・事業化に向けて、我が国の海洋資源調査産業として広がりをもって取り組むことが出来る体制・道筋・取り組みを統合的かつ具体的に示してください。また、研究開発期間中、事業終了後の実施計画を記載して下さい。（上記（１）および（２）の記載内容を踏まえて記載して下さい。）

**（６）研究開発実施の基盤及び準備状況**

・研究開発構想を推進する基盤となる、研究代表者自身（及び必要に応じて研究開発に参加する者）のこれまでの研究の経緯と成果・その他の予備的な知見やデータ等（存在する場合）、過去の関連する業務実績について記載ください。